

令和 8 年 3 月 25 日

国立研究開発法人 水産研究・教育機構
水産資源研究所
水産資源研究センター長

資源評価ピアレビュー報告書への対応について

ウルメイワシ 1 資源（対馬暖流系群）、ムシガレイ 1 資源（日本海南西部系群）、キンメダイ 1 資源（太平洋系群）、およびカタクチイワシ 1 資源（瀬戸内海系群）の令和 6 年度資源評価について、カナダ、日本の専門家 2 名（Murdoch McAllister 博士、山川 卓博士）にレビューしていただきました。McAllister 博士には対象 4 資源全てについて、山川博士にはキンメダイ、カタクチイワシの 2 資源についてレビュー報告書を作成いただきました。

各専門家がレビュー報告書を作成される過程において、質問や確認事項にお答えすることを主目的として、令和 8 年 1 月にピアレビュー会議を参画都府県の担当者にも参加いただいで開催し、各資源評価担当者との意見交換や議論を行いました。今回の対象資源はいずれも資源評価に VPA（仮想個体群解析）を用いており、会議では、資源構造、基礎的なデータ（年齢別漁獲尾数、資源量指数等）の質、漁獲死亡係数と漁業実態や自然死亡係数の検討、再生産モデルの妥当性、不確実性の考慮、新たな解析手法の検討など多くの指摘や助言をいただきました。今後の資源評価の高度化に向けて、活発かつ有意義な議論が行えたと考えております。

水産資源研究センターでは、各専門家からいただいたご指摘を別紙の対応表にとりまとめ、担当研究者を中心にそれらへの対応方針を示しました。これらの対応方針のもとで、今後 5 年ごとに予定しております各資源評価の全体的な見直しに向けて当センターとして検討を続け、既に実施あるいは着手している事項については、毎年の資源評価に順次適用してまいります。時間を要する課題や担当研究者だけでは解決できない事項についても、関係者のご協力を得ながら取り組んでまいりたいと考えております。

以上